

## MIKIMOTO 第58回 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート New Year Concert 2018

### 【出演者プロフィール】

#### ●大野和士（指揮） Kazushi ONO, conductor



1987年トスカニーニ国際指揮者コンクール優勝。以後、世界各地でオペラ公演ならびにシンフォニーコンサートの客演で聴衆を魅了し続けている。これまでに、ザグレブ・フィル音楽監督、東京フィル常任指揮者、バーデン州立歌劇場音楽総監督、ベルギー王立歌劇場（モネ劇場）音楽監督、アルトゥーロ・トスカニーニ・フィル首席客演指揮者、フランス国立リヨン歌劇場首席指揮者を歴任。現在、東京都響音楽監督、バルセロナ響音楽監督を務めている。2016年9月に新国立劇場オペラ部門芸術参与へ就任、18年9月に同劇場芸術監督へ就任予定。

フランス批評家大賞、日本芸術院賞ならびに恩賜賞、朝日賞など受賞多数。文化功労者。17年5月、大野和士が9年間率いたリヨン歌劇場は、インターナショナル・オペラ・アワードで「最優秀オペラハウス2017」を獲得。6月にはフランス政府より芸術文化勲章「オフィシエ」を受勲。同時にリヨン市からもリヨン市特別メダルが授与された。

#### ●大村博美（ソプラノ） Hiromi OMURA, Soprano



マントヴァ国際コンクール最高位、マルセイユ国際オペラコンクール第1位など数々の国際コンクールに入賞。フランスを拠点にパリ・オペラコミック、シャンゼリゼ劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、イスラエル歌劇場、ワルシャワ歌劇場、サヴォンリナ・オペラフェスティバルなどで数々の主役を歌う。近年ではローザンヌ歌劇場『ノルマ』タイトルロール、ロレーヌ国立歌劇場『フィガロの結婚』伯爵夫人、モンリオール歌劇場『トロヴァトーレ』レオノーラ、トゥーロン歌劇場『オテロ』デズデモナなどを演じ国際的な活躍が続いている。本年2月東京二期会『トスカ』タイトルロールで出演する他、10月には『蝶々夫人』タイトルロールで出演予定。フランス在住。二期会会員

#### ●脇園 彩（メゾ・ソプラノ） Aya WAKIZONO, Mezzo Soprano



東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程声楽専攻（オペラ）修了。2013年10月よりイタリアに留学、パルマ・アッリーゴ・ボーイト国立音楽院ビエンニオコースを経て、14年10月よりミラノ・スカラ座研修所に所属。声楽コンクール“Neue Stimmen 2013”セミファイナリスト。

14年7月ペーザロにて、ロッシーニ『ランスへの旅』メリバア侯爵夫人役でイタリアでのオペラデビューを果たす。その後、ロッシーニ『セビリアの理髪師』『ブルスキーノ氏』『イタリアのトルコ人』『試金石』、モーツァルト『フィガロの結婚』『ドン・ジョヴァンニ』『コジ・ファン・トゥッテ』、ビゼー『カルメン』、ベッリーニ『カプレーティ家とモンテッキ家』などに出演。近年では、ヴェローナ・フィラルモニカ劇場における『チエネレントラ』公演は好評を博した。

## ● 笛田博昭 (テノール) Hiroaki FUEDA, Tenor



新潟県出身。名古屋芸術大学卒業、同大学大学院修了。第37回イタリア声楽コンクール・イタリア大使杯、第9回マダム・バタフライ世界コンクール（モルドヴァ大会）第1位、第50回日伊声楽コンクール第1位及び五十嵐喜芳賞・歌曲賞受賞。これまでに「ラ・ボエーム」「ラ・ジヨングダ」「仮面舞踏会」「蝶々夫人」「トスカ」「カルメン」「椿姫」「アイーダ」「マクベス」「ドン・カルロ」など多数のオペラに主演するほか、NHK-FM「名曲リサイタル」、NHKニューイヤーオペラコンサート、「第九」、ヴェルディ「レクイエム」など各種コンサートに出演。日中国交正常化35周年記念・第9回上海国際芸術祭公演「蝶々夫人」、フェッラーラ歌劇場「イル・トロヴァトーレ」マンリーコ、ヴァチカン国際音楽祭での音楽ミサなど海外でも活躍。藤原歌劇団団員。

## ● 東京都交響楽団 Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra



東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立（略称：都響）。現在、大野和士が音楽監督、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者、ヤクブ・フルチャが首席客演指揮者を務める。定期演奏会を中心に、小中学生への音楽鑑賞教室、多摩・島しょ地域での訪問演奏や福祉施設での出張演奏など、多彩な活動を展開。CDリリースは、インバルによる『マーラー交響曲集』のほか、交響組曲『ドラゴンクエスト』（全シリーズ）まで多岐にわたる。2013年には「プラハの春」音楽祭に出演。創立50周年を迎えた2015年には、ベルリン・ウィーンなど5ヶ国6都市をめぐるヨーロッパ・ツアーを行い、各地で熱烈な喝

采を浴びた。《首都東京の音楽大使》として、来たる東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、文化芸術の活性化を目指している。

<http://www.tmsso.or.jp/>